

# キッズみんなの日記

6月号

ようやく温かくなったかと思えば、梅雨入りも間近、今年はやよっぴりお日様不足ですね。

学校では運動会や修学旅行など大きなイベントがあったり、楽しいゴールデンウィークの家族行事があったりと、先月は、日記の話題には事欠きませんでしたね。しかし、まだまだどうしてもタラタラ書きが目立つのが残念です。朝から夜まで自分のしたことをただ並べるのではなく、その日一番印象に残ったこと、人、言葉などに話題を絞って書いてみましょう。

優秀作品は、ある人物にスポットを当てたり、一つの事柄に絞ったりと、上手に自分の感動を強調しています。それぞれ、ポイント別に紹介しますので、是非参考にしてみてください。

## 優秀作品紹介

### ★「五感」を働かせ「想像力」豊かに★

たんけん

きのう学校のまわりを三年生でたんけんしました。私が行ったことのない道だったのでワクワクして行きました。すぐく緑が多くて夜に歩くことわそうなどころだと思えました。私は、せつたいに夜には歩きたくないなと思えました。畑も多くて、長ねぎも多く植えられていました。国分川の水が少しよこれていてかわいそうでした。ピンク色の家があつてハデでかわいかったです。私たちが行ったところは自然がいっぱいあるところだと思えました。(小三・WMさん)

探検で見つけた物がたくさんありましたね。見た物の感想を述べるのではなく、「夜になったらこのあたりはどうだろう?」と想像力を働かせ、「こわそうだ」と表現することで緑が深いということを実に上手に伝えていきます!

### ★自分の身近な人にスポットを当てて★

おばあちゃんの一周き

今日は、お父さんのお母さんの一周きでした。おばあちゃんは、去年の五月十一日になくなりました。おばあちゃんは、昔から絵が大好きで、私の顔や、そこらへんの風景を、いつも、いつも描いていました。そして、亡くなったときは、親戚のみんなは、しくしく泣いていました。

おばあちゃんがなくなつてから、お父さんの妹の部屋にあったおばあちゃんの絵を、お父さんが写真に撮り、本にしました。お父さんはカメラマンなので、とってもうまく撮ることができました。おばあちゃんの絵は、本当にきれいなので、じまんのおばあちゃんです。(小五・SYさん)

大好きだったおばあちゃんのことをとても上手に紹介してくれましたね。絵が上手だったおばあちゃんに、カメラマンのお父さん。きっと、Yちゃんにも芸術家の血が濃く流れているのでしょね。このように、自分の身近な人にスポットを当てて書くという、題材選びの上手さにも注目です。

### ★★★的を絞って生き生きと書き広げる★★★

海

五月二日に九十九里浜の白子海岸に家族でいきました。まず初めに、砂浜に行きました。砂浜は温かくて、貝殻も落ちていたので集めました。それから、目的の海の方へ行きました。ぼくは、海に入ろうとしたけど、水着を持っていかないので、ズボンがぬれないで、度々海に入りました。そしたら、大きな波が来ました。逃げようとしたら、波の方が速かったので、スポンが、びしょびしょにぬれてしまいました。それから、岸が上がつてなんとかわかれました。そして、とても楽しかったです。(小五・KYさん)

大波が来て、慌てて浜に向かって走るY君の姿が目につかぶようですね。大きな波に捕まらびしょびしょになったときのY君の「あああ」という声も聞こえてきそうです。たった一つのハプニングを上手に書き広げている、とても良いお手本です!

### 運動会

私がつ通っている宮久保小学校では、来週の土曜日の二十九日に運動会があります。最近では、毎日のように練習をしています。

私たち五年生がやる種目は、まず組体そうときば戦です。その二つは五、六年生がいっしょにやります。組体そうは何人かでやる技がいっぱいあります。きば戦では、一番前の人を持つことになりました。その他にも、五年生だけでやる八十メートルの徒競走があります。

そして、一番楽しみにしているのが、選手だけで走る紅白リレーです。今日も練習をして、私のいる白組は一、二位だったのでとってもうれしかったです。

本番当日も、白組が勝てればいいな、と思いました。(小五・TMさん)

宮久保小学校の運動会のことごとくもわかりやすく説明されていますね。色々な種目を具体的に挙げ、中でも一番楽しみにしていることをきちんと強調しています!紅白リレーは、いつの時代も運動会の花形ですよ。応援するほうも、思わず力が入ります!Mちゃん、本番も頑張ってください!

組体そう

私の学校は、運動会が毎年五月にあります。今は、組体そうの練習をしています。その中で、一番スゴイと思っただのは、三段タワーです。男の子だけで作ります。一度、練習の時にやっていたから見ていました。「すごい!」みんなが声を出して拍手をしました。高いタワーの上の人が一人乗りました。私なら、あんなに高いところには立ってないなあ、と思いました。でも、本番は上手にやりたいです。(小五・NHさん)

この時期、運動会の話題はみなさんもよく題材に選びますよね。「運動会」→「組体操」→「三段タワー」と上手に的を絞っていくテクニックは見習いたいですね。また、Hちゃんの個人的な感想だけでなく、周りの友達との「セリフ」や「行動」を添えることで、三段タワーのすごさを生き生きと伝えていきます!お見事!!

## 伊藤先生のおすすめ本

### ★初級者★

ふたりはともだち 文化出版局  
アールド・ノバル 作/三木卓 訳

ガキくんとカネるくん、ふたりの友情を描いた5つのお話。「友達ってなんだろう...? たくさんいじらうがいいの? いつも一緒にいたい? コーモラスのんびりおひたやりとガキ温まります! この中の「おてがみ」は教科書にも引用されています。

### ★★中級者★★

くしゃみ くしゃみ 天のめぐみ 福音館書店  
松岡享子 著

「おなら」「しゃっくり」「くしゃみ」「あくび」など、自分ではどうすることもできないことが、大きすぎたり、いっばい出たりで困っている人が主人公です。でも、その主人公が幸せをつかんでいく、ナンセンスなコーモラスのお話5編!

### ★★★★上級者★★★★

大力のワーニャ 瑞雲波少年文庫  
ホルト・ブローネ 著/堀内誠一 訳

急げ者のワーニャが森で出会った老人から皇帝になると予言され、旅に出た。かすかすの難関をのりこえ、やがて皇帝になるまでを描く。ロシアの首話る題材にした痛快な冒険物語。